

事業番号	09 04 05	事業改善シート（令和7年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	水産振興事業			部局	農政部	課・室	園芸畜産課
				実施期間	S25 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp

### 1 現状と課題

本県の水産業は内水面養殖業と河川湖沼漁業からなる。養殖業では、信州サーモンをはじめとする信州ブランド魚の生産が行われているが、小規模事業者が多く、経営の安定が求められる。河川湖沼漁業では、組合員の高齢化と担い手不足が進展するに従い、組合の収入減少により増殖放流量が少なくなり、遊漁者減少の一因となっている。

### 2 事業目的

本県の水産業を持続的に発展させるために、河川湖沼における自然生態系の生産力を生かした水産資源の増殖や、特徴ある漁場づくりなどにより活力ある漁協経営を実現するとともに、消費者や実需者から求められる魚づくりで儲かる養殖業の実現をめざす。

### 3 事業目的を達成するための取組

**①信州サーモン、信州大王イワナのブランド化に向けた種苗生産・供給**

- ・実需者等のニーズに応える生産の確保とブランド化を図るため、信州サーモンと信州大王イワナの稚魚を生産し、県内養殖業者に安定供給
- ・令和7年度は、信州サーモン40万尾、信州大王イワナ7万尾を生産

**②諏訪湖におけるワカサギ等有用水産資源の増殖技術の開発**

- ・ワカサギの採卵量を安定させ、資源の増殖を図るため、湖内で捕獲した親魚を用いた新たな増殖技術を開発
- ・テナガエビの種苗の大量生産技術を開発するとともに、諏訪湖に適した資源管理方法の確立に向けた調査を実施

**③外来魚等の食害防止に対する支援**

- ・ブラックバス等外来魚やカワウによる魚の食害を防ぐため、漁協が行う駆除や追い払い等の取組を支援



信州サーモンの出荷の様子

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし - : 数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度	R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込	推移			
①	信州ブランド魚の生産量	t	431	350	↘	400	↗	450	△	第4期長野県食と農業振興計画におけるおける達成指標（令和3年度：357t→令和9年度：485t）に基づき、3年目である令和7年度は450tを目標値とする。
②	諏訪湖におけるワカサギ等の増殖技術研究課題数	課題	3	4	↗	4	→	4	△	農業技術ステップアッププログラムの短期（R5～9年度）課題のうち、R7年度における取組課題数を目標として設定。 ※R5年度事業点検のシートで5課題としていたR5年度実績のうち2課題について、本年度1課題に統合して研究開発を実施しているため、実態に合わせました。（修正前：5、修正後：4）
③	外来魚の駆除尾数	尾	46,461	75,271	↗	47,600	↘	48,800	△	R4年度駆除実績（尾数）の5%増を目標とする。

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

### 6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)			
R7年度	予算案	2月上旬公表予定			0		29.5
	要求		117,554		117,554	70,877	
R6年度	1,726	112,790	0	114,516	63,581	29.5	
R5年度	22,572	102,576	0	125,148	54,257	101,651	29.5

事業番号	09 04 05	<b>細事業一覧（令和7年度実施事業分）</b>	■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	<b>水産振興事業</b>		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
1	<b>水産試験場種苗開発費</b>		29,531 千円	31,654 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 39,282 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	ニジマス種苗供給 在来マス・信州サーモン種苗供給	直接	養殖魚の品質向上及びブランド魚普及のための種苗供給を実施 信州サーモン 40万尾 信州大王イワナ 7.0万尾 ニジマス 卵130万粒 イワナ 2万尾、卵2万粒			
2	アユの種苗供給	直接	河川での水産資源増大及び養殖魚の品質向上のための種苗供給を実施 アユ 60万尾			
3	シナノユキマス・フナ等種苗供給	直接	河川での水産資源増大及び養殖魚の品質向上のための種苗供給を実施 シナノユキマス 90万尾 フナ 1.2t ウグイ 40万尾、卵200万粒			

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
2	<b>水産試験場試験研究費</b>		15,651 千円	16,220 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 16,169 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	増養殖技術の改良・確立	直接	増養殖技術の高度化のための魚病対策、資源管理技術の開発研究を実施 取り組む研究課題数5件			
2	市場性の高い品種の開発	直接	品質の良い養殖魚を生産するための優良品種の開発を実施 取り組む研究課題数2件			
3	水産環境の保全	直接	水産資源の保護培養のための環境保全対策研究を実施 取り組む研究課題数2件			

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算	
3	<b>水産試験場技術指導費</b>		3,837 千円	4,041 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 4,090 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）			
1	養殖漁業指導	直接	養殖業の発展を図るため、魚病診断・対策指導など安全・安心な魚づくりに関する 指導及び養魚場巡回指導を実施。また、養魚技術講習会を開催 指導件数650件、講習会1回			
2	河川湖沼漁業指導	直接	河川湖沼漁業の発展を図るため、外来魚対策など環境保全指導、増殖手法の普 及や漁場管理の指導を実施 指導件数350件			
3	寒天製造技術指導	直接	良質な天然寒天の安定生産を図るため、藻の性状分析、製品等の依頼分析を実 施 寒天依頼分析件数350件			

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
4	水産試験場運営費	48,436 千円	57,479 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 54,724 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	水産試験場の円滑な運営	直接	水産試験場の円滑な運営・管理を実施 県内4試験場・試験地の運営	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
5	外来魚等食害防止対策事業	1,597 千円	1,513 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,496 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	外来魚等食害防止対策推進事業	直接	外来魚等食害防止対策事業を推進するため、調整等事務を実施 打ち合わせ会議1回	
2	外来魚等食害防止対策事業	補助金	外来魚等による漁業被害防止のため、それらの駆除及び食害防止に要する経費補助（補助先：漁協等）を実施 外来魚対策6団体、カワウ対策7団体、ミンク対策1団体	

細事業 No.	細事業名	R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算
6	漁業指導事業	3,454 千円	1,813 千円	予算案 2月上旬公表予定 要求 1,793 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	内水面漁場管理委員会の運営	直接	漁業法に基づき設置が義務付けられた委員会で、知事の諮問事項等を協議 委員会3回	
2	組合検査指導事業	直接	健全な漁協運営を図るため、漁業協同組合の業務及び会計状況の検査を実施 会計状況の検査12漁協	
3	漁場利用調整事業	直接	円滑な漁業調整を図るため、漁業権者の申出に基づく協議会を開催 内水面漁業振興法による協議会1回	